

刊夕日八月八

常警日新聞

定価一冊五銭 郵費五銭
 廣告料五號十二字 行金五拾銭
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常警日新聞社
 編集所 常警日新聞社
 印刷所 常警日新聞社

海の子便り

平第一臨海學校通信

第六信

八月六日 (晴)

昨日あたりから正式に晴れた空は(正式といふのは先生等の間に流行した言葉です)昨夜の浪音もよく響いて、今日は非常によいお天気、気持ちよく晴れた朝の海邊には三々五々と散歩する人の姿が見えておました。僕等の朝の行事も元氣一杯に終りました。

午前の海は土用波が荒れ狂つておました、大きな波は飛込臺まで呑み倒さうと岸へおしよせます。危険信號が出ておました。

今日で六日の僕等は相當

ノート

脂肪足で困る人は足の裏や指の股に亜鉛華を擦りつけて置くと汗を防ぎ足袋靴下、下駄なども汚れぬ

に黒くやけた人、赤く泣き出しさうな顔の人、赤禪、赤帽に暑くやけた砂を踏んで、この荒海におどりこみました。先生は皆、最前線に立つて僕等を見守つてくれています。安心して大波とたはひれました。頭から波をかぶつては足をさらは

れ、鹽からい水を呑んでしがみ顔をした。先生に笑はれたら、先生が倒れるのを見て笑つたり、用心しながらの遊びも仲々愉快なものです。

暑くやけた砂に体を横にして、うでたてのかにをおやつに頂いて午前の海も終

明日の献立

【朝】味噌汁 豆腐 小付
 茄子 芥子漬

【晝】煮浸し 青菜 むぎみ

【晩】照焼 生鮭 酢の物
 大根おろし 白須干
 若芽二杯酢

午後の宿舎はひっそりとしておます。一室に皆が集つてお話会です。隣室にゐてもK君の高い聲が面白く聞えました。校長先生、菅波先生、中島寫真屋さんのお顔が見えました。

海は益々荒れて、午前中は危く立つてゐた飛込臺も今日は倒されて、みにくい姿となつて渚に横たはつておました。流石の僕等も飛び込む勇氣がありません。

磯傳へに波立薬師をお詣りしました。鰐ヶ淵の朱塗りの橋をバックに一枚、元潮

聲館前で一枚、二枚の記念撮影をすまして、午後の行事を終りにしました。

海邊には裸の人の姿は見えません。波はいよゝ高、いかり、くだけてゐます。

キヤラメル、パンのおやつに頬張りながらお風呂へ行く人、ボール遊びの人、元氣のやうですが疲勞が見えてゐるやうです。なんせ六日目ですもの。



月

平南 風韻

一点の錆なき今宵の月の鏡よ

それ清く汚なき小川の水面なれば

吾が心の鏡は此の世に唯一つ

そは汚れなく一点の曇りなく

吾が心をそのまゝに清く映す

美しくしき今宵の月の如く

佛壇 佛位牌 佛具 特賣

早い目が御得です。品種豊富、選擇御自由、
 平町三丁目三六(北裏)

漆器 佛具 卸商 共榮漆器店

八月 自十日の五日間 至十四日

福引大賣出し

◎御買上金二圓毎に福引券進呈

景品は本明石、本場銘仙、鳴海本絞、浴衣地等特等より五等まで空籤なし

◎舗装道路竣工何卒御誘合せの上御来店下さい。

一圓均一見切品掘出物山積、中元御贈答用格安品豊富取揃へ皆様を御待ちして居ります。

京 染 その他絹帯側、絹名

ジヨゼット 三、五〇 古屋帯、明石、絹小紋

優秀着尺モス 二、八〇 等盛夏必需品断然特

本 銘 仙 三、五〇 價提供

三井呉服店

電話二八四番

外科

専門線光X

上田外科醫院

平町南町 電話一二九番

暑中御伺

石城郡銀行組合

石城郡町村長會

石城郡内各學校校長會

平藝妓屋組合

平町旅館組合

日本ゼネラルモーターズ株式會社
 シボレー自動車販賣店
 株式會社 福島モーター商会平出張所
 平町三丁目 電話一八七番
 本店 福島市 支店 山形市

片倉製絲株式會社
 所長 山本 薫

平製氷株式會社
 専務取締役 松本 一郎
 電話二二八、三二六番

東部電力株式會社
 平營業所

平庶民金庫
 電話四九三番

平運輸株式會社
 平驛前

磐城建物株式會社
 井上貞治郎

平町の二百五十名

あす簡閲點呼

教練は殊に嚴重

既報平町在住者の本年度簡閲點呼は明九日午前七時半より第一小學校庭に於いて執行官大井川中佐により行はれるが應召者は二百五十名である、尙當日は六時半迄に集合し殊に嚴重な教練が行はれるので教練に適當な服装をして集合されたいと

海軍職夫受験者

本郡で廿八名

來月福島で採用試験

既報横須賀海軍工廠の第二回職夫募集には本郡からも多數の應召者を見たが此の程資格調巡の結果本郡からは左記廿八名が受験者資格者と決定來月上旬福島若松の兩市で採用試験を受ける事になつた

- (入道野) 鈴木常二 生田目賢(田人) 鈴木辰雄(夏井) 緑川重 大和田一也 (高久) 志賀行叩 渡邊良一 根本庄壽(江名) 清野幸治 野口武雄(鹿島) 新妻正恵(小名濱) 大瀧正巳 日向野蕭也 箱崎源吾 草野正雄(赤井) 柳田啓 中野弘道 小野數馬(永戸) 平山與三九 海野千代松(澤渡) 遠藤正秋 吉田博之(大浦) 阿部英明 中野敏男(大野) 鈴木昇平(平窪) 吉田正義 弱田繁 江尻良平

事に決定各校共目下夏休を利用して練習中であるが川部小學校では小名濱小學校訓練を招き練習中である

法曹對營林署

十一日野球戦

平法曹團野球部では來る十日午後二時より第一校球場に於て營林署軍と對戦する事になつたがメンバーは左の如くである

- 藤田坂谷澤川田野崎 齊山石小石吉小山 (投捕) (一) (二) (三) (右) (中) (左)

稻熱病續々發生

郡農會で絶滅に狂奔

天候不順に祟られて石城地方の農家は稲作の成育が非常に悪く殊に稻の枯死する稻熱病が現在菊田、植田、勿來、山田方面に續出して最近では小川、草野、神谷等にも發生し初めた有様なので郡農會では是が豫防対策に就いて各町村農會技術員を督勵して居るが農家では大脅慌を來して居る

休暇中の不養生を憂ひ

生徒の健康調査

平商で十五日に召集

平商業學校では來る十五日全校生徒の点呼召集を行ひ身体検査の上健康状態を調査し併せて休み中に於ける課題の指導を行ふと

教室から見た

去月中の温度

平第二小學校の七月の授業中の教室温度は例年になくないと勿論入つたのですとあと舟遊び水泳を一枚、どんなに寫つたこととせう、今日は海水は思つたより冷たく波もあらかつたので一回浸つただけあとは河で泳いだ。

裸一本の砂遊び

濱の大氣に浸る爽かさ

新舞子附添の先生通信

午前八時目的地の新舞子へ生徒六四名附添に學校長、首席訓導吉成、中村、松本正治、黒木、平塚、樋口、石山、齋藤評導、看護婦の緑川さん、以上十三名今日のプランによつて涼しい中に浴亭で熱心に自習が始まる、潮風の匂ふこの室に見

平町人事

- △擡槌小路二四 鷺谷二郎 (三一)
- △大町四五 佐々木タイ子 (二ツ)
- △舊城跡一 大井川八郎

謹告

拜啓 磐城中學校同窓會定時總會及懇親會を左記次第に依り開催致候に付御出席相成度此之段以紙上謹告候也

- 八月八日 同窓會長 關内正一 全副會長 諸橋元三郎
- 定時總會 十日 午後一時 磐城中學校内 懇親會 全日 午後六時 谷口樓 會費 二圓五十錢

中村齒科醫院

平町鍛冶町七

海は意氣が勇壯になり、活潑になる。アメリカの海岸を洗つて來た水も鯨の腹を通つて來た水も湯の岳登山をして來た水も、あらゆる水が躍つてゐる、意氣豪壯の氣を養ふのは矢張り海だ。歸る頃太公望の魚籃にも潑刺として魚がおどつてゐた。(新舞子平第一臨海學校)

季節鳥料理

やな川 平田町 魚榮へ 配達迅速 電話四二四

市原醫院

平町 田町 電話一四番

女給を熱望した娘

再び情夫の許に走る

女給商賣三日で幻滅の悲哀

前借を踏まれた「ナナ」

平町南町カフエーナナ方女給安積郡三和村生れ熊三郎三女野崎タケ子(三)は昨六日朝前借金卅五圓を踏み倒して逃走したので雇主の訴へにより平署で手配せる結果同人は情夫である郡山市葉山居住村上操(七)方に潜伏中を同署の手配で昨夜十

時郡山署に檢舉されたが女は去る二日迄村上と同棲して居たが女給商賣に憧れて三日男に無断で家出、平町に來て直にナナ方へ雇れたが僅か三日間で女給商賣の裏が解りさしもの女給熱も冷め果て其儘前借を踏倒したものであると

新聞の中に

八十圓の札束

炎熱で遺失物激増 皆さん御注意

皆さん懐中物に御用心！海へ山へ！と憧られる本格的な暑熱が立秋近きこの頃になつて漸く訪れて來たが毎年この時期は炎熱に喘ぐ人々が暑熱にのみ氣を取られる結果金品を遺失し勝ちであつたが今年は何になく平署の遺失係りの窓口を賑はせ左記を筆頭に八月に入つてから既に二十五件といふ數字を見せて断然激増してゐる

その一 海水浴に來平中の三春町字中町大越エツさんが去る五日午後四時頃平署前で不二タクシーの貸切自動車に乘車した際クツションの上に風呂敷包みがあるので調べてみると現金二十五圓在中してゐたので其儘平署に届出たが落し主は東京市丸の内二ノ一八望月郷良さんでけふ平署に出頭して該金を受取つた

その二 夏井村藤間字松原一四八農鈴木助重郎さんが去る二日午前八時頃平町に野菜賣りに出掛け來たが新川町地内道路に新聞紙包みが落ちてゐるので拾上げると何んと手の切れる様な十圓札が八枚、八十圓を拾つて平

脱衣場で

二百圓盗まる

有関夫人海水浴禍

内郷村磐城炭礦病院長夫人會田スイさんは去る六日小名濱町海岸脱衣場で現金六十圓在中の墓口と翡翠帶止外四点時價百五十圓餘を何者にか窃取されて居る事を發見し蒼くなつて届出た

教化講演會

廿九日鹿島で

本縣の教化聯合會主催の講演會は本月廿九日午前九時より鹿島小學校に開かれるが講師は大日本報徳會の名倉貫一氏である

体操講習線上

既報來る二十九日より三日間平第一小學校で行ふ筈であつた体操石城支部主催の体操講習會は都合に依り一日繰り上げ二十八日より開始する事になつた

接客業者健診始まる

全管内を執行

平署管内接客業者の健康診断は本日より十日間同署會議室で浅野本縣防疫官が出張診断するが第一回目的の本日の検診者は平町一部の接客業者五百名であつた

川部同窓會

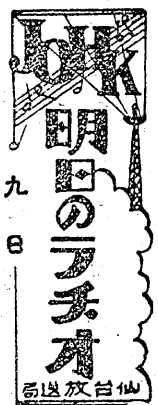
川部村男女青年團では来る十日午後一時より同村小學校に於いて同窓會を開き郡駐在農業技術員米山技手を招へて農事講演を行ふ

モヒ中恵まる

千葉市大町五八生れ佐藤政一(三)は七日午後三時頃平町を通行中持病のモルヒネ中毒を起し平町役場から若干の醫療金を恵まれて立去つた

踏倒逃走捕る

安達郡二本町字根岸町割箸業佐藤末藏(三)は茨城縣松原町字北方居仕と詐稱して去月



今晚も明日も南東の風一時晴

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
管絃樂 協立音楽會
後六、二五 趣味講座「川柳に理はれた歴史上の人物」
岡田三面子
後七、五〇 獨唱(新交響樂團練習所より中繼)
武岡 鶴付

明日の部

前六、三〇 夏期英語講座
八チャールスパーカー

尋卒 月五圓位

- 回 職を求めの方
- △菓子職 二十七才 高卒
- △ミシン裁縫 十八才 高卒
- △小役員 二十才 高卒
- △土工夫 三十二才 尋四
- △配達夫 二十二才 高卒
- △商店雑役 三十二才 中卒
- △新聞配達 若干名 高小
- △在學中朝夕刑何れも可

看護婦急派

の求めに應じます

平看護婦會

電話三〇七番

米國製劑皮膚病良藥

レメドール
子宮病、根切藥、下腹や腰の痛みをなほす事妙なり

丹波博士創製セキドメ

たんぼあめ
うまくてセキカヨクトマル

靈藥ムテキ

エビハレ、ヤケド、キリキズ、淋病、梅毒、乳ハレ、すべて化膿したものを切らずに癒る

阿康藥舖

平町古銀治町一〇
縣社ノ下 電話四四番



(繪師 上原 隆)

田邊南龍(作)
山本英春(繪)

唐大権兵衛などは私の孫で

長兵衛は私の子分
「シテ貴方の御主人の持つて居なさるのと同作てえのは何でございますか」
「違つたらお笑ひ下さい、これは先づ真宗かと存じます」

「此りやア何うも恐れ入ります、お目利の通り彦四郎でございます」
却々鑑定は巧いと思つて居ると、
「時に貴方は顔役さんでございますか」
「へエ」
「大阪で立司顔役と云ふと關東の元締さん、その元締さんで在つしやいませう」
「左様その端へ加はつて居る者でございますが……」
「それでは貴方さまは幡隨院様の長兵衛でございますか」
と云はれて驚きまして
「此奴、色んな目利きをする奴だ」
と思つて



長兵衛

「こりやア恐れ入りましたが私は長兵衛じやアありません、長兵衛は私の子分でございます」
「へエ……長兵衛さんの親方ではデックリ清兵衛さんでございますか」
「デックリ清兵衛の親方

「鍾馗の半兵衛といふ鬼でも掴み殺すといふところから鍾馗の半兵衛といふ」
「どうも半兵衛さんてえのは餘り聞きませんがア」
「そりやア聞かない管で、暫らく中絶して居りましたから素人は御存じありません」

「外ではございませませんが大阪に水浴びせてえのがあります、正月の十五日になると家の前へ盃を積んで置きまして、それから新しい手桶の中へ水を入れて、その中へ梅の折枝を入れて置きまして聾を更けた嫁を娶つ

まいが、その道の者は半兵衛といへば知つて居ります……」
「左様でございますか、ソロンロ此處を立つといいたしませうかなア」
と茶代を拂つて兩人は立出でました時に藤吉が
「半兵衛さんへ、私が御見掛け申して御願ひがござい

た」と云ふと、その主人が見世の先へ座つて居りまして親類近邊のものが知己に來ますときに芽出度々々の若松さんヨと皆んなが歸りませう、それが近邊のものなら宜しうございませうが大阪に仲仕といふ者があります米仲仕、石を取扱ふものを石揚といふやうなもので、その若い衆が三十人、四十人と集まつて來まして、挨拶のしやうが悪いとか、面が高振つて居るとかいふと、水を頭へ打掛ける、仕舞には關東でいふ喧嘩、當地で出入といふものを始めますそこで大阪の顔役が見世先へ座つて下すつて若い衆能く來て呉れた、俺が當家の名代だによつて、目出度く歸つて呉れるやうにと斯う云はれますと、顔役さんに免じて云ひたい事も云はずしてお目出度うございませうお目出度うございませうといつて歸ります」

内科 小兒科 花柳病科
藤 沼 醫院
平町 紺屋町 電話五〇七番

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎 回文庫
電六三〇番
(申込次第規則書進呈)

玉屋洋品店
平町田町通電話六五六番

●店員募集
年齢十五、六才、希望に至急來店あれ

石炭
コークス
炭
平 驛 前
阿部石炭商店
電話三七番

**喜多流謠曲と仕舞の
お稽古**をお勧め致します
平田町九六
喜多流 謠曲 仕舞 **白土會**
◇詳細は本會へ御問合せ下さい 電二二七番

夏は行け!
海へ……山へ……
炎天灼くが如き八月ともなれば海へ山へと憧れるのは人間の本能であります。
是非お出かけ下さい。
セリザワノニューカーで!
平・三 芹澤タクシ
電 539

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
町南町一六 電話一七〇番